



秋の声、もうききましたか…

秋になると気温も下がり、空気も澄んでくるので、夏よりも日常の物音がいつそうよくきこえてきます。鳥や虫の鳴き声など、秋ならではの声は夜遅くまで響きます。さあ、どんな声が聞こえてくるかな？

「わたっこ広場で子ボラさんと遊ぼう！（仮）」の

お知らせ

「わたらい子育てボランティア」が「わたっこ広場」に来てくれます。

手遊びや紙芝居、絵本の読み聞かせなど、いっしょに遊んだり、お話ししたりしませんか？

よかったら、ぜひ遊びに来てください。

日時：令和3年9月9日（木）10:30～11:30頃

場所：子育て支援センター「わたっこ広場」

対象：子どもさんと保護者（保護者はどなたでもかまいません）

9月の行事予定

10日（金）**ぴよぴよクラブ（ブックスタート）**

10:30～11:30

15日（水）**遊・友・YOU（ひよこ・うさぎ）**

10:30～11:30

22日（水）わたっこ Baby 広場

10:30～11:30

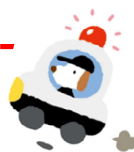
育児相談（予約制）

11:30～12:00

28日（火）子育て支援教室

「子ボラさんと遊ぼう！」

10:30～11:30



防災シリーズ⑤

『水害から命を守る』いつ逃げる？ どう逃げる？

台風などで大雨に見舞われたりして、水害の危険性が高まる時期がせまってきています。

大雨に関するいろんな情報が発表される中で、私たちはどのようなタイミングで非難を決めればいいのか？ また、避難を決めた時に何に気を付ければいいのか？

まず、いつ逃げるか…ということ。避難を決めるタイミング、これは難しいような気がします。

大雨が降り続くと、いろんな情報が発表される。どういう備えをして、どんな情報に注目すればいいのか？

①まず、何よりも重要なのは、事前にハザードマップ等自分のいる場所、あるいは仕事先などを含めて自分の生活圏にどのような危険があるのか、どんな災害が起こりうるのか、ということを確認しておく。避難する必要があるのかどうか、それを知っておく、ということがまず大前提になる。

②その後、市町が出す避難情報に注意する必要がある。5段階の警戒レベルという形で出されています。

レベル3の高齢者等避難、これは高齢者だけの情報ではなく、高齢者以外の人もしろそろ予定を見合わせ始めたり、危険だと思ったら避難をはじめたりする。レベル4が避難指示。警戒レベル4までに必ず避難することが必要。ちなみに警戒レベル5は、緊急安全確保。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況で、命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する。

しかし、その情報を待つということではなく、自治体から出されるものは、あくまでも1つの目安です。こういう情報が出されなければ避難をしてはいけない、ということではないので、基本的には、私たち1人1人が判断をする、ということが必要となります。避難する場所についても、必ずしも避難所に行かなくてはいい、ということではなく、自宅や近隣ビル等での垂直移動、水平移動（避難所含む）のホテルでの避難、車中、友人宅や親せき宅など、日頃からどこへ避難すればいいのか、ということを考えておくといよい、ということです。



免疫学の専門家としては、情報にまどわされないように本当のことを知ってほしい。新型コロナに関して、特にワクチンに関して最近根拠の薄いあやふやな情報が流れているように思う。今なかなか感染が止まらない状況の中、真実を伝えたい、ということです。

①ワクチンはどれくらい効くものなのか。有効性は？

メッセンジャーRNA ワクチンと呼ばれるワクチンが、発症予防効果が高いといわれてきたが、その後は感染も重症化も予防している、ということがわかってきた。イスラエル、イギリス、アメリカの一部の地域で、社会の6割以上の人々がワクチンを受けてる地区だと、メッセンジャーRNA ワクチンは、感染予防だけでなく、発症予防、感染予防、重症化予防全ての効果がそろっている、ということが分かってきたということです。

②デルタ株についてはどうか。

最近、イギリスとか、データが少しずつ出始めてきていて、うれしいことにデルタ株に関して、感染予防効果、重症予防効果というのが出てきている。いいことは、この効果が長く続く。おそらく8か月以上1年は続くのでは。それは、若い人だけでなく、お年寄りにも効いている。これがインフルエンザワクチンと大きく違う点。インフルエンザだと、わずか4か月くらいでその効果が半分になってしまう。高齢者にあまり効かない。メッセンジャーRNA ワクチンだと高齢者にもよく効いて、しかもその効果が1年続く。アメリカのデータは、8か月は十分に続いている。少しずつは減っていくが、減り方を見てるとやっぱり1年は続く。

③どうして、今出ているワクチンはそんなに効くのか？

一つの理由は、このワクチンはRNA というものを油の膜の中に封じ込めたナノ粒子という形にしている。このナノ粒子というのは、身体の中にいったん入ってくると、リンパ管という管の中に入りやすくなっている。リンパ管は、免疫の砦と呼ばれるリンパ節につながっているので、メッセンジャーRNA はすべてリンパ管を介して、免疫の砦に運び込まれるということ。免疫の砦には、免疫反応が始まるのに全て必要な細胞がそろっている、そこで強い免疫反応が起こるようになる。一方これまでのワクチンは水溶性なので、全身に散ってしまうことが多くて、必ずしも免疫にとって最も大事な場所であるリンパ節には一部しか行かなかった。これがかなり大きな差を生み出していると思われる。

④一番気にかかる安全性は？

今接種されているファイザー社、モデルナ社のワクチンについて、アナフィラキシーショックという大きなアレルギー反応については、思ったよりも頻度は高くなく、実際起きても医師が居るとほぼ完全に対応できる。接種した場所が痛む、腫れる、熱を持つ、全身的にも発熱する等2回目の方が若干強いし、若い人の方が副反応が出やすい傾向。正し大事なことはこういう反応は確かに強いものの、ほとんどのものは1~2日しか続かないし、解熱鎮痛剤で簡単に治まる。そういうことを思うと、コロナにかかった時のことを考えたら、ワクチンの副反応の方が大分ましと思われる。

⑤体の中に悪い成分が残って、悪いことをするんじゃないか？ということとは？長期的な副反応は起こらない？

体内にワクチンが入ってくると、その成分は1日か2日で完全に分解されて、体内には残りません。たとえばどこかの組織にたまるとか、そういうことはない、そのことを考えると長期的な副反応はほぼ起こらないであろうと考えています。

元気なわたっこ（度会町の子ども）たち

♡無心に遊ぶ…



♡遊ぶ合間に撮影協力♡



♡びっくりちたー!!



♡はいはい得意でちゅ



♡「わたらい子育てボランティア」さんに、
「わたっこ広場」で子ども達と交流してもらいました。絵本の読み聞かせやふれあい遊びもしました。

※お孫さんを連れておじいさんも来てくれました。
奥の方に座って見てくれています（捜せるかな…）



♡「遊・友・YOU くらぶ」で絵本の読み聞かせをしてもらいました。

だ・る・ま・さ・ん・の・・・ 「め」！

子どもたちは楽しい絵本にくぎづけでした。

by わたらい子育てボランティア



♡お座りできるようになったよ♡♡



♡姉妹で広場に来てくれました♡♡

♡ママの抱っこ、安心でちゅ♡♡



♡キリッ&いいお顔♡♡



♡お誕生お祝いで撮影
ちょっと緊張しちゃった
(>_<) ♡♡



子育て支援センターに
遊びに来てくださいね。



☆子育て相談を行っています☆ 電話番号：63-0070 【秘密厳守】